

## 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言

本市は温暖な瀬戸内海と緑豊かな山々に囲まれ、その豊かな自然や貴重な歴史的・文化的な資源を有します。これらは、私たちの将来の世代に長く引継がれていかなければなりません。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇を2度未満とし、1.5度に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有され、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と示されております。

本市はここに、2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言を表明し、この豊かな自然と環境を次世代に引き継ぐために「ゼロ・カーボンシティ」の実現へ向けて持続可能なまちづくりを目指します。

令和3年2月2日

備前市長 田原隆雄